

# 北のとびら

vol. 124

令和3年7月



藤田貴大(マームとジプシー)interview

## 特集 | かがみ まど とびら

子どもから大人まで一緒に楽しめる  
自分と何かを分ける「境界線」に注目した冒険物語



アート巡礼 胆振／つくる人in白老 前田育子  
ジモトデザイン 王子サーモン／伝わる文化 御供獅子舞／ART FILE 斉藤幹男

子どもたちは「未来の作り手」です

新たな試みなのですが、この2作は役者4人や、音楽の原田郁子さん、衣装のSuzuki Takayuki

「めにみえない みみにしたい」と「かがみ まどとびら」の共通点はなんでしょう？

作り方は普段と変わりませんが、大人が懐かしむような遊びを取り入れたり、シャボン玉などの視覚的な楽しさで子どもたちが飽きないようにするなど、演出に工夫をしました。

子どもから大人まで楽しめる作品を創作するにあたって、意識したことはありますか？

さんなどチームが全く一緒なんです。舞台のサイズやパネルの数も同じ。見えのある舞台セットでも、蓋を開けてみるとまったく違う話という面白さを、観劇した子どもたちに感じて欲しかったんです。一見すると同じ舞台だけれど、ここを変えるだけでここまでニュアンスが変わるんだとか、演じ

る役柄でこんなにも役者の印象が変わるんだとか。演劇の作り方や、手触りを感じてもらえると嬉しいです。子どもたちは未来の「作り手」です。面白い演劇だった、だけでは終わってほしくないんですよね。

前作同様、今作も子どもたちの席と舞台がフラットになっていますよね。

子どもを含めたひとつの風景を作りたいと思っ、役者と同じ次元に子どもたちの席を設けました。物語を食い入るように見たり、時々集中力が切れてしまったり。そうした子どもたちの様子を、後ろから大人たちが見えて

るといっても重要なんです。子どもたちは、僕らが知ることのできない未来を生きていきます。そして、家庭をつくったり、ものをつくったりする、何かの「作り手」になるわけです。大人たちは舞台上のパフォーマンスト同時に、未来の作り手である子どもたちの姿を重ねて見ること、何十年先の未来を想像する—そんな景色をイメージしました。そしてそれは、未来の作り手たちへの祈りでもあります。

「めにみえない みみにしたい」との相違点は？

物語は全く別物です。「めにみえない みみにした

# かがみ まどとびら

巻頭特集 | 藤田貴大(マームとジプシー)interview

PHOTO (表紙・P02~P05) / 井上佐由紀



『めにみえない みみにしたい』に続く子どもから大人まで楽しめる

演劇作品の第二弾『かがみ まどとびら』。

大きく変わるこの世界の中で、

現代演劇界を牽引する若き才能が子どもたちに託す思いとは。

マームとジプシー主宰・藤田貴大さんに話を伺いました。

# 家の中から一歩も出られない中で行う夜の冒険

「外に出て何かに出会う」という童話的なモチーフを使いました。もともと「次回作は外に一歩も出ない話をしていね」という話をしていたんです。そうして、迎えた2020年。コロナ禍により、5月の上演が延期となり、子どもたちも学校閉鎖になりました。「本当に家から出られないくなつたね」なんて原田郁子さんとも話したりして。「かがみまどとびら」は、鏡や窓、扉を伝って家から家へとワープできる話です。家の中から一歩も出られない中で行う夜の冒険ですね。コロナ禍前に着想した物語ではあるけれど、今の時代に通じるものがありますよね。家の中で授業を受けたら、SNSで世間の



の様子を伺ったり、映画やアニメを鑑賞したり。僕たちは外に出なくても、誰かと繋がれる可能性があるんですね。けれど、ここにも矛盾があった

て。観客のみなさんは、家から外に出て劇場に足を運び、演劇という表現に出会っています。劇中では「家にいっても外と繋がれる」と言いながら

も、実際には外に出てくれないこと、僕らは皆さんと出会っているんです。そこが美しい矛盾になっていると僕は思っています。

「かがみまどとびら」も再演となりますが、コロナ禍を経た今、変わった部分などはありますか？

テキストは今のところ変えようとは思っていません。けれど、コロナ禍により演劇の様子も役者の営みも変わりました。次の公演が打てるのかという不安定な状態でリハーサルを続けるなど状況は変わっています。演劇ができることはスペシャルなことだと常に思っていたけれど、今はより一層スペシャルだということを改めて感じていて。演劇における再演というのは、出演者たちはみんな2年、3年と歳を重ね、今朝のニュースをみんな見えています。テキストを変えなかったとしても、今という時間を無視する

# 演劇は今という時間を無視することができない

ことができないんですね。演劇って変な芸術ですよな(笑)。

「藤田さん自身の変化はありますか？」

演劇にとって、コロナ禍が与える影響は必ずしもネガティブなものばかりではないと思っています。演劇はものすごく難しい媒体になってきているのは間違いないですが、同時に希少価値が上がった気がするんですよね。家から出て、コロナ禍の街の中を抜けて劇場で観劇し、再びコロナ禍の街を抜

けて家に戻る。家族で観劇の感想を語り合う。僕は、そうした希少な時間の提供をコソコソと続けるのを待つことしかできません。劇場はお客さまとの待ち合わせ場所です。さまざまなリスクやハードルを越えて会いにきてくれるお客さまに対して、僕たちはその思いに

しいけれど、チャンスでもある。そう考えるようになりました。

「北海道での公演、非常に楽しみです。」

お待ちしています。お客さまにとっても、僕らにとっても、演劇がこれまで以上にスペシャルなものになったと実感しています。確かに取り巻く状況は難

北海道に行く、18歳の自分に再会する気持ちになるので、心がざわつくんです。生まれ育った北海道での日々は、僕自身の今のクリエイションに大きく影響しているから、子どもたちに舞台を見せることがとても緊張するとか。北海道は僕にとって、特別な場所なんですよ。



藤田貴大 (ふじた・たかひろ) 1985年生まれ。マームとジブシー主宰、演劇作家。2007年にマームとジブシーを旗揚げ。象徴するシーンのリフレインを別の角度から見せる映画的手法で注目を集める。2011年に3連作『かえりの合図、まっけた食卓、そこ、きつと、しおふる世界。』で第56回岸田國士戯曲賞を受賞。2015年、今日マチ子原作の『cocoon』(再演)で第23回読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。演劇作品以外でもエッセイや小説、共作漫画の発表など、活動は多岐に渡る。2007年7月、初の小説集『季節を告げる霧は夜が知った毛毛毛』(河出書房新社)を上梓。

## かがみまどとびら

2021年8月10日(火)・8月11日(水)  
開場14:40 開演15:00 開場11:10 開演11:30  
終演予定15:55 終演予定12:25

クリエイティブスタジオ (札幌市民交流プラザ3階)  
〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目

新型コロナウイルス感染防止対策とご来場の皆様へお願い ※発熱や風邪の症状のある方はご来場をお控えください。※ご来場の際のマスク着用、受付時の検温及び手指の消毒にご協力をお願いします。 ※なお、マスクの着用が難しい小さなお子さまにつきましては、周りへの配慮をお願いいたします。 ※会場内での大きな声での会話はお控えください。 ※会場内にて感染者が確認された場合、来場者の氏名・電話番号等を公的機関に提供する場合がございます。 ※詳細は劇場ホームページをご覧ください。

主催 | 公益財団法人北海道文化財団、札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団) 助成 | 一般財団法人地域創造、文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 制作協力 | ダブルス

# 胆振巡礼で 探すアート

※新型コロナウイルス感染症の状況によって掲載されている  
営業時間やイベント開催日時等が変更になる場合があります。

## 01 円空上人が仏像を刻んだ場所 岩屋観音堂洞窟



その生涯で約12万体の仏像を掘ったとも言われる廻国僧・円空上人。この洞窟でも5体の仏像を制作し、そのうち1体を長く安置していました。風化が進み、現在は有珠善光寺で保管しています。

- 住所 / 豊浦町字礼文華小幌
- アクセス / JR小幌駅より徒歩約30分
- TEL.0142-83-2239(豊浦町教育委員会生涯学習課 社会教育係)  
TEL.0142-38-2007(有珠善光寺)

## 04 縄文時代からの伊達市の歴史がまるわかり！ だて歴史文化ミュージアム



縄文、アイヌ、武士の3文化を示す資料群から伊達市の歴史が学べる施設です。続縄文時代と弥生文化をつなぐ貴重な「有珠モシリ遺跡」をテーマとした企画展も開催中(8月22日まで)。

- 住所 / 伊達市梅本町57番地1 ●TEL.0142-25-1056
- アクセス / 道の駅「だて歴史の柱」より徒歩2分
- 開館時間 / 9:00~17:00(最終入場16:30)
- 休館日 / 月曜(祝日の場合は翌日)
- 入館料 / 一般・大学生・高校生300円、小・中学生200円

## 02 壮瞥町蟠溪に建つ廃校カフェ 音楽室・アマデウス



昭和63年に閉校した旧壮瞥町立蟠溪小中学校を利用したカフェ。道内の音楽愛好家から譲り受けたCDやLPを多数収蔵。オーディオから流れる音楽を珈琲と共に楽しめる贅沢な空間です。

- 住所 / 壮瞥町字蟠溪10-4(旧・蟠溪小中学校)
- アクセス / 蟠溪温泉 湯人家(ゆのとや)より徒歩3分
- TEL.090-9241-0566(担当:宿谷志郎)
- 開室時間 / 11:00~17:00(金曜・土曜・日曜) ●休館日 / 月曜・火曜・水曜・木曜
- 利用料 / 大人500円(コーヒーのサービスあり)※地域の方は300円・子供(小学生以下)無料

## 05 古い玩具や美術品がざらり 古趣 北乃博物館



登別市の老舗玩具屋店主が水産加工場を改装して2014年にオープンした私設博物館。マニアも唸る年代物の玩具や名画ポスター、美術骨董品など一万五千点以上の収集品を展示しています。

- 住所 / 登別市登別東町2丁目16-3 ●TEL.0143-83-1730(若木玩具店)
- アクセス / 登別駅より徒歩3分、国道36号線上、登別中学校校門の斜め前
- 開館時間 / 個人運営のため、事前連絡があれば開館
- 休館日 / 不定休 ●入館料 / 大人500円、子ども200円、小学生以下無料

## 03 厚真町のハンドメイドレザークラフト Taniko leather



革工芸作家が故郷の厚真町に開いた工房兼ショップ。タンニンなめしの牛革を使い、オリジナルの革製品を制作しています。丸井今井札幌にて企画展も開催予定(8月25日から8月31日まで)。

- 住所 / 厚真町新町433番地 ●TEL.0145-27-3420
- アクセス / 厚真町市街より車で3分
- 営業時間 / 11:00~17:00(金曜・土曜のみ営業)
- http://tanikoleather.wixsite.com/taniko

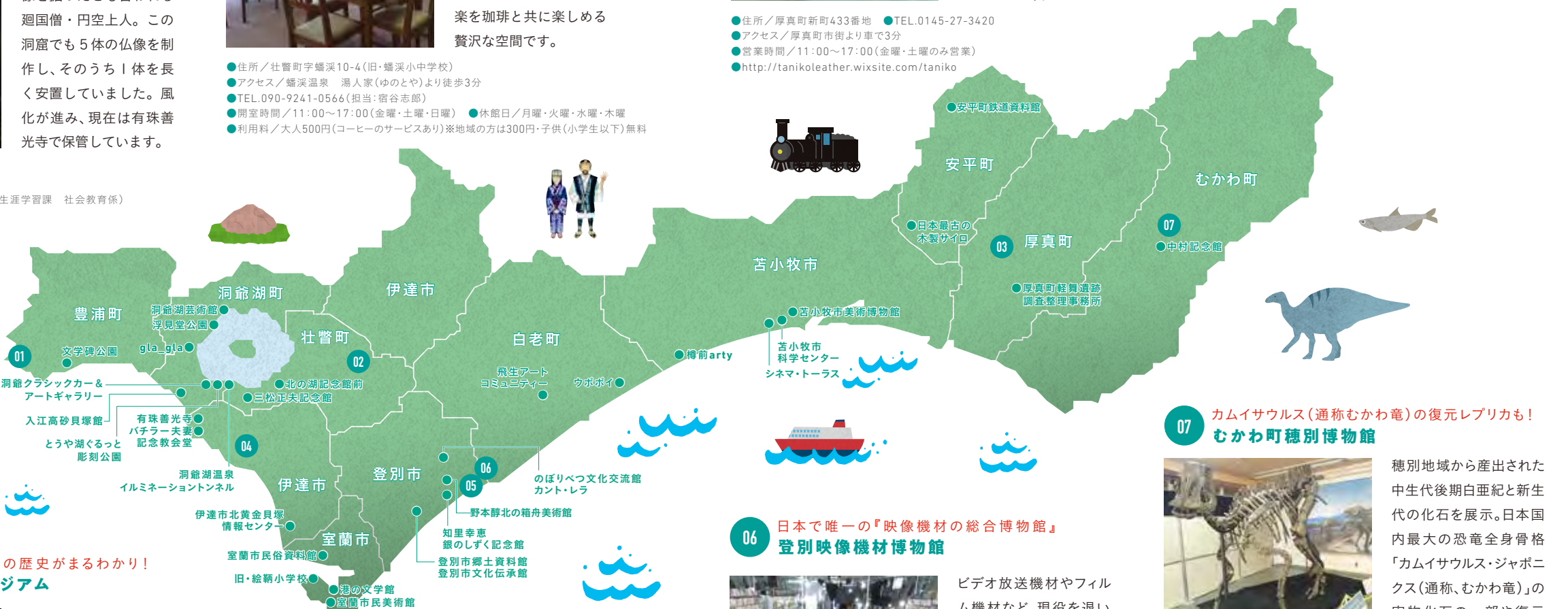
## 06 日本で唯一の『映像機材の総合博物館』 登別映像機材博物館



ビデオ放送機材やフィルム機材など、現役を退いたアナログ映像機器を大切な文化遺産として動態保存展示している博物館。放送機材の変遷史を追うことができる国内唯一のスポットです。

- 住所 / 登別市登別東町1丁目7-2
- TEL.090-8631-7050(FAX.0143-84-8202)
- アクセス / 登別駅より徒歩3分、室蘭行高速バス登別東下車後徒歩2分
- 開館時間 / 10:00~16:00
- 休館日 / 木曜(その他不定休)※11月~翌年4月まで冬季休館 ●入場料 / 無料

# Art JUNREI アート巡礼



## 07 カムイサウルス(通称むかわ竜)の復元レプリカも！ むかわ町穂別博物館



穂別地域から産出された中生代後期白亜紀と新生代の化石を展示。日本国内最大の恐竜全身骨格「カムイサウルス・ジャポニクス(通称、むかわ竜)」の実物化石の一部や復元レプリカも公開しています。

- 住所 / むかわ町穂別80-6 ●TEL.0145-45-3141
- アクセス / 日高規格自動車道むかわICより約45分  
道東道むかわ穂別ICより約20分
- 開館時間 / 9:30-17:00(最終入館16:30)
- 休館日 / 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
- 入館料 / 大人300円、小・中・高校生100円、小学生未満無料



日常に溶け込むデザインの魅力に迫る！



国道36号線沿いに見えてくる、馴染みのサイン

**苦** 小牧市内を車で走っていると、国道36号線沿いに見えてくる「王子サーモン」の文字と、シャケのイラスト。青と赤の組み合わせが鮮やかなこのサインは、王子サーモン苦小牧・北海道工場の壁面に掲げられているものです。

1961(昭和36)年。当時の王子製紙の副社長が出張先のイギリスで食べたスモークサーモンに感動。帰国後、試行錯誤の末にその味を再現し、誕生したのが「王子サーモン」です。創業は1967(昭和42)年で、現在の場所に工場が建てられたのは、1972(昭和47)年のこと。以来約半世紀に渡り、サインと共に苦小牧市内のお馴染みの風景の一つとして愛され続けています。



▲工場壁面のロゴとは別に、「王子サーモン株式会社」として会社名に使用するロゴも別に存在していた。2015年のリニューアル前までは商品パッケージと、会社名で使い分けをしていたが、現在は統一している。

同社の記録を遡ってみたいところ、工場壁面のサインに使われているこのフォントとイラストの組み合わせは、主に商品パッケージなどに使用されているロゴとして創業時から使われていたもの。創業者や当時の社員たちのサーモンにかけた期待や希望がこのロゴに託されていたはずだ。

2015(平成27)年、王子サーモンは「若い世代に訴求できるブランド」を目指し、銀座店をリニューアルオープン。その際に、これまでのロゴやパッケージの見直しも行われることになりました。

ブランディング強化の一環で、ロゴを一新する案も出ましたが、「創業時から共に歩んできたロゴ」として社員の愛着や思い入れが強く、従来のデザインを生かすことに。現在使われているロゴは、創業時から使っていたロゴの文字間や体裁などを整えたもので、懐かしさも新しく、会社が歩んできた歴史と、新しい世代にも受け



▲銀座店は建築家・前田圭介氏の設計によるもの

入れられる洗練さが同居しているかのようです。

商品のパッケージやオフィシャルサイトなど、新しいロゴへの差し替えが進んでいますが、実は北海道工場のサインは、昔のまま。創業当時のロゴを見ることができ唯一のスポットとなっています。



▶人気のスモークサーモンも、新しいパッケージデザインに。



▲王子サーモンのロゴと合わせた通称「王子フォント」を使用したパッケージデザイン。

DATA

苦小牧・北海道工場直営店 苦小牧市有明町2丁目8-15 TEL.0144-84-1187  
 札幌大丸直営店 札幌市中央区北5条西4丁目7番地 大丸札幌店 地下1階 ほっぺタウン食品売場内  
 王子サーモン銀座店 東京都中央区銀座3-7-12  
<https://www.oji-salmon.co.jp>



陶芸家 / Tairyō hug 前田育子 maeda ikuko

**大** 漁旗をなびかせながら大漁船を渡る何艘もの魚船。その勇壮な姿は、白老町に工房を構える陶芸家、前田育子さんが子どもの頃によく見た情景です。

「廃船で使われなくなった大漁旗を再利用し、鮮やかな図柄を存分に生かしたバッグや服をデザインする「大漁育(Tairyō hug)」。前田さんが立ち上げたこのプロジェクトは、今年で10年目を迎えます。

「当初は本格的にやる予定ではなかったのですが、漁師の方とお話をする機会があつて、皆さんが植樹活動を行っていることを知ったんです」と前田さん。

豊かな森林は豊かな海を作ります。雨水が森林の栄養分を川へと運び、やがて海に流れ着き、魚の繁殖につながります。森と海の自



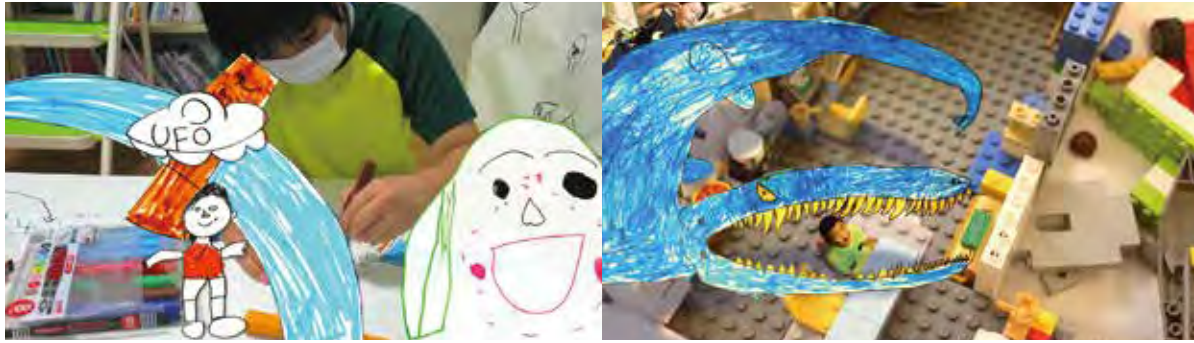
前田育子  
 1968年、白老町生まれ。道内外に多くのファンを持つ人気陶芸家。大漁育の商品は工房(白老郡白老町緑町702 / TEL090-9522-3688 ※要事前連絡)や、白老ねっと商店(shop-shiraoui.net/)でも購入可能。

然のサイクルに刺激を受けて、「売上金の一部を植樹に寄付することで、大漁旗が形を変えて海に還元できる」と「大漁育」を本格始動させました。

「鶴や亀など、大漁旗には縁起物の図柄が鮮やかに描かれていて、色使いや佇まいは、ある種、土着的。地元素材を生かす、という意味では陶芸に通じるものがあります」と前田さん。工房には毎年、白老町をはじめ、登別市や苦小牧市、時には姫路市など、道内外から

大漁旗が届きます。「手直しの跡や、自らアレンジして旗の縁にフリッジをつけているものなどを見ると感動するんですよ」と、大漁旗が歩んできた歴史に思いを馳せると胸が熱くなるそう。「私にとって大漁旗は身近な存在でしたが、手染めで作られる柄は一つとして同じものがなく、改めて見ると本当に面白くて魅力的。創作意欲が湧きますし大漁旗からたくさんエネルギーをもらっています」





別々の時間、土地での作品を散りばめ、過去から現在に繋げる



#### 齊藤 幹男 / 映像作家

1978年札幌市生まれ。2000年、早稲田大学第二文学部表現芸術学科卒業。2002年、シュテーデル美術大学(フランクフルト、ドイツ)に進学、2007年卒業。マイスターシュレー(博士号)取得。手描きの絵によるアニメーション、写真、CGなど様々な種類のイメージを組み合わせ、アナログ・デジタル双方の魅力を引き出す映像作品を主に制作し、国内外のギャラリーや美術館等で作品を発表している。2009年より札幌を拠点とし、市民参加型のワークショップ形式の作品制作や音楽家とのコラボレーションも積極的にやっている。

**上**の2枚の写真は、2020年に北海道文化財団の「子どもアート体験事業」で芽室町の上美生学童クラブに2週間通った際に、子どもたちと作った映像作品の一部で、今回の展示作品のひとつです。子どもたちとの活動の時には、ひとりひとりみんな違う答えが出るような問いはないかと頭を悩ませています。活動を通して子どもたちがどう感じるかも、みんな違ってバラバラな方が良いですね。

今回はVR展示もあることから、会場に来れない遠くに住んでいる人や、自分がこれまで滞在して制作、発表してきた場所の人にも見てもらえることを意識しました。現在の活動に繋が

る過去の作品も絡めて、別々の時間、別々の土地での作品を散りばめ、その中に現在との関連性が見つかるような内容になっています。

映像作品を作りはじめた当初は、写真と16mmフィルムを使ったアニメーション作品でしたが、今はデジタル制作に移行しています。

デジタルで映像を作る最大の利点は、ネットワークを利用して誰かと共同で制作したり、オンライン上で作品を公開できることです。誰かが撮影した素材や購入した素材を使ったり、自分では作れない素材を誰かに作ってもらうなどして、デジタルとネットワークの利点を生かした方法を取っています。

今回の出展作品はもともとデジタルデータなので、VR画面の中ではすべてが等質なデジタル素材になるところが面白いと思っています。この展示会場が本当に実在の物なのかどうか、いくらでも加工したり、変化させたりすることができるので、VR展示は実際に会場で見るとは違う何らかの心理的な作用があると思っています。

コロナ禍により、アートイベントの中止を経験しましたが、昨年は中国の美術館のオンライン企画に参加するなど、新しい発表機会を得ることもできました。こうしたオンラインや遠隔指示の経験は、コロナ禍が収束した後も意味を持ちそうだと感じています。

VR展示は  
QRコードからも!



詳しいSTORYはWEBで



「御供獅子舞」は、1892(明治25)年頃に香川県から現在の室蘭市香川町に入植した開拓者の人々によって始められました。時代を超えて今に受け継がれている室蘭市の民俗文化財です。

入場  
無料

北海道文化財団アートスペース企画展 vol.46

齊藤幹男 個展 **Our time machine does not seem to be broken**

2021.5.17~8.27 9:00~17:00 ※土日祝休館 ※都合により臨時休館する場合があります。

場所 / 札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビルディング 3F 問い合わせ / 011-272-0501

VR展示公開中! <https://my.matterport.com/show/?m=JKAZKbQhFPs>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公演やイベント等の開催が変更または中止になる場合があります。公演等の実施については、事前にそれぞれの問い合わせ先にご確認ください。また、各公演等の開演時間・入場料は会場にお問い合わせください。

### 文化提携交流事業

●ハイバイ

『ヒッキー・カンクートルネード』

札幌公演

日時：2021年9月19日(日)・20日(月・祝)

会場：クリエイティブスタジオ

(札幌市民交流プラザ3階)

問い合わせ：北海道文化財団

☎011-272-0501



### アートシアター鑑賞事業

●この子たちの夏

砂川市公演

日時：2021年8月19日(木)

会場：砂川市地域交流センター

問い合わせ：NPO法人ゆう ☎0125-54-3111

長万部町公演

日時：2021年8月21日(土)

会場：長万部町学習文化センター

問い合わせ：長万部町芸術鑑賞実行委員会 ☎01377-2-2748

●北と南の民謡&和楽器コンサート～北彩南美～

清水町公演

日時：2021年8月21日(土)

会場：清水町文化センター

問い合わせ：清水町教育委員会 ☎0156-62-5115

豊頃町公演

日時：2021年11月26日(金)

会場：豊頃町える夢館

問い合わせ：豊頃町教育委員会 ☎015-579-5801

●札幌ジャズアンビシャス

日時：令和3年8月22日(日)

会場：石狩市花川北コミュニティセンター

問い合わせ：NPO法人石狩市文化協会 ☎0133-75-1288

●木管五重奏団ウインドアンサンブル・ポロゴ 童話を楽しむ音楽会

日時：2021年9月12日(日)

会場：東神楽町ふれあい交流館

問い合わせ：東神楽町 ☎0166-83-5407

●市民寄席／平成開道亭

日時：令和3年9月18日(土)

会場：くりやまカルチャープラザ

問い合わせ：カルチャープラザ運営実行委員会 ☎0123-72-1117

●グッドビーブル

中標津町公演

日時：2021年10月17日(日)

会場：中標津町総合文化会館

問い合わせ：(一財)中標津町文化スポーツ振興財団 ☎0153-73-1131

幕別町公演

日時：令和3年10月21日(木)

会場：幕別町百年記念ホール

問い合わせ：NPO法人まくべつ町民芸術劇場 ☎0155-56-8600

●ランス室内楽団コンサート～クラシックは楽しい！～

日時：2021年10月24日(日)

会場：壮瞥町地域交流センター

問い合わせ：壮瞥町地域交流センター運営ボランティア実行委員会

☎0142-66-2131

●南国の音スティールパンコンサート

日時：2021年11月5日(金)

会場：幌延深地層研究センター

問い合わせ：幌延町教育委員会 ☎01632-5-1117

●花咲く家の物語

富良野市公演

日時：2021年11月24日(水)

会場：富良野演劇工場

問い合わせ：NPO法人ふらの演劇工房 ☎0167-22-3800

深川市公演

日時：2021年11月27日(土)

会場：深川市文化交流ホール

問い合わせ：NPO法人深川市舞台芸術交流協会 ☎0164-23-0320

### 新進アーティスト育成事業

●小澤ちひろコンサート

日時：2021年9月11日(土)

会場：幕別町百年記念ホール

問い合わせ：NPO法人まくべつ町民芸術劇場 ☎0155-56-8600

●北海道民謡 魂を聴く

日時：2021年10月17日(日)

会場：木古内町中央公民館

問い合わせ：木古内町教育委員会 ☎01392-2-2224

●札幌学生対校演劇祭 第12章

日時：2021年11月19日(金)～21日(日)

会場：サンピアザ劇場

問い合わせ：日本学生演劇プラットフォーム北海道支部

加納絵里香(☎080-3291-6547)

●第16回北海道中学生演劇発表大会

日時：2021年11月27日(土)～28日(日)

会場：札幌市教育文化会館小ホール

問い合わせ：北海道中学生演劇発表大会実行委員会

札幌市立南が丘中学校 山本(☎011-571-3775)

### まちの文化創造事業

●第2回ひがし北海道太鼓まつり

日時：2021年9月23日(木)

会場：釧路市生涯学習センター まなぼと幣舞

問い合わせ：日本太鼓財団北海道道東支部

遠藤(☎090-2694-0461)

●おびら太鼓麓龍30周年記念公演「NO TAIKO NO LIFE」

日時：2021年9月25日(土)

会場：小平町文化交流センター

問い合わせ：おびら太鼓麓龍 金子(☎0164-56-9500)

●第8回いっしょにね！文化祭

日時：2021年10月2日(土)

会場：北翔大学 札幌円山キャンパス

(多目的ホール、ギャラリースペース)

問い合わせ：NPO法人三角山 杉澤(☎011-676-3955)

●釧路太平洋太鼓保存会 創立50周年記念公演

日時：2021年10月30日(土)、31日(日)

会場：釧路市民文化会館(コーチャンフォー釧路文化ホール)

問い合わせ：釧路太平洋太鼓保存会 菅野(☎090-7519-9363)

INFO

WEBマガジン「北のとびら」創刊。冊子にはない情報も！ぜひご覧ください。

WEBマガジンはこちらから！ <https://haf.jp/kitanotobira/>

